



いつも「もう一つの家ややさん」を応援して頂きありがとうございます。おかげさまでオープンまであと1か月、改修工事は順調に進んでおります。

さて、応援して下さる皆様に、少しでもややさんの事をお伝えできればと思い、年に4回季節のお便り風に「ややさんつうしん“こちら末広町 88 番地”」を発行します。これはややさんの住所ですが、気のいいおうちである上に、末広がりで88というとても縁起がいいということでタイトルにしました。そんな素敵な場所から生まれる日常を今後お伝えしていきますので、どうぞお楽しみに！

『もう一つの家』とは？

今からオープンするややさんには「もう一つの家」という名前がついていますが、それは日本財団の「もう一つの家プロジェクト」に採用されたことに始まります。

「もう一つの家」とは、病院でも家でもない、住み慣れた馴染みのある場所で、人生の最期の日までその人らしく暮らせる「とも暮らし」のできる家のことです。そして、“北陸初”のホームホスピスとなります。

このプロジェクトはなんと“全国初”のプロジェクトであり、実は建物が完成したら終わりというものではないのです。プロジェクトの最終目標は「地域づくり」であり、1年目は場所を作り、そして2年目3年目は「地域づくり」を行うことになっています。

地域づくりを楽しみながら、ややさんの取り組みが全国のスタンダードになるよう頑張りたいと思います。

改修工事、着々と進んでいます

本来なら6月にオープンしていたややさんですが、昨今の社会情勢により工事の着工が大幅に遅れてしまいました。しかし、9月オープンに向け、暑い中毎日大工の皆さん、がんばってくださっています！時々お邪魔させて頂き「おぉー」と、感嘆の声をあげています。完成が非常に楽しみです。



工事中で今は寂しい玄関です。この玄関横にスロープを付け、車椅子の方ももう一つの玄関から出入りできるようになります。



産後ケアで使っていた通称「ピンクの部屋」。押し入れを外し、腰窓は掃き出し窓に変わりました。



全国からいろんな方がお泊りになった通称「赤の間」。朱の壁や天井の良さをそのまま残しここにも掃き出し窓がつけました。



ユニットバスが入りました♡寝たきりの方もゆったりと入れるよう、シャワートロリーも導入します。



階段奥はトイレでした。ここは、洗濯室に変わります。

「クラウドファンディング」「ネクストゴール」挑戦中です！

ややさんの設計段階では、ああしたい、こうしたいという夢や希望を思い巡らせていましたが、この社会情勢による建築費高騰で、残念ながらいくつか諦めなければいけなくなりました。

しかし、どうしても譲れなかったのが入浴設備です。お風呂の設備をしっかり整え、寝たきりの方も、地域の入浴困難な方にもご利用頂き、ゆったりとお風呂に入り、リラックスして頂きたいのです。そして、最期の日まで可能な限り入浴をお手伝いしたいのです。

そこで私たちは6月23日より「クラウドファンディング」に挑戦する事にしました！



ホームホスピスこまつがクラウドファンディングに挑戦！
【さよならを言える場所を守る】
北陸初のホームホスピス開業へご支援を

目標金額は630万円ですが、全国の方々からご支援を頂き、おかげさまで7月16日に目標を達成することができました。

しかし、クラウドファンディング終了は8月12日(金)11時です。そこで、もう一つ大切にしたい「眺めの庭」や「各居室のウッドデッキ」の整備の為に、私たちは「ネクストゴール」を1,000万円とし挑戦を続けることにしました！

終了まであと少しですが、是非とも皆様のご支援を頂ければ幸いです。

北陸初のホームホスピスです。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



◆ご支援方法◆

「もう一つの家ややさん レディフォー」と検索、又はQRコードからお願いします。

※インターネットでのご支援が難しい方は「代理支援」を行っております。お気軽にご相談ください。



よろしく
お願いします



これまで親交のあるたくさんの方々から応援メッセージを頂きました



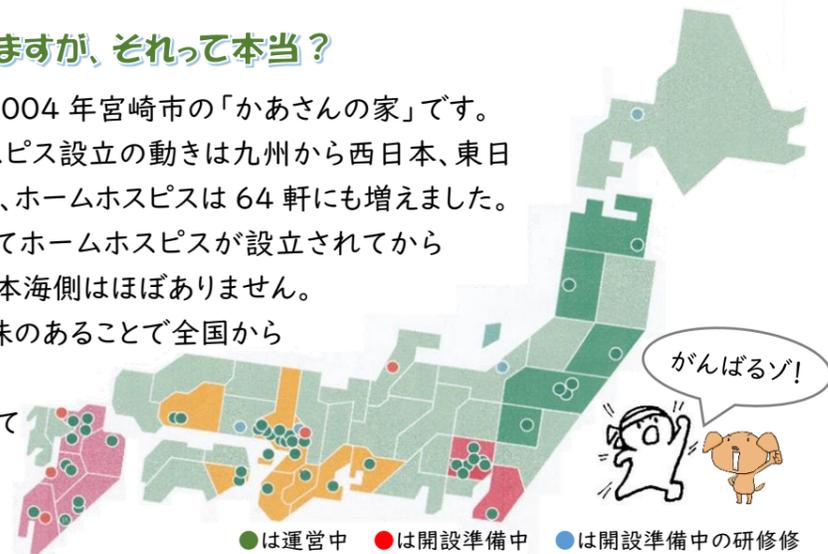
- ♡ 柳田 邦男 様 (ノンフィクション作家)
- ♡ 秋山 正子 様 (認定NPO法人マギーズ東京センター長/白十字訪問看護ステーション統括所長)
- ♡ 市原 美穂 様 (全国ホームホスピス協会理事長)
- ♡ 山崎 亮 様 (コミュニティデザイナー)
- ♡ 小田 豊二 様 (聞き書き作家)
- ♡ 谷川 俊太郎 様 (詩人)
- ♡ 町永 俊雄 様 (福祉ジャーナリスト)
- ♡ 加藤 篤 様 (NPO法人日本トイレ研究所 代表理事)
- ♡ 覚 和歌子 様 (作詞家/詩人)
- ♡ 村上 八千世 様 (絵本作家)
- ♡ 佐々木 淳 様 (医師/医療法人社団悠翔会理事長・診療部長)
- ♡ きたがわ めぐみ 様 (絵本作家)
- ♡ 金田 朋子 様 (声優)

※応援メッセージは上記クラウドファンディングの「新着情報」でご覧頂けます。又、ご支援頂きました皆様の応援メッセージも私達の力になっています。ありがとうございます！



ややさんは「北陸初」と言いますが、それって本当？

ホームホスピスが初めて誕生したのは2004年宮崎市の「かあさんの家」です。そこから高齢社会が進み、ホームホスピス設立の動きは九州から西日本、東日本へと広がり、令和4年4月1日現在、ホームホスピスは64軒にも増えました。しかし、地図を見てわかるように、初めてホームホスピスが設立されてから18年にもなりますが、北陸はもとより日本海側はほぼありません。つまり、今回のややさん誕生はとても意味のあることで全国から注目を浴びています。「北陸にホームホスピスを!」と想い続けて8年。ようやく願いが叶います。



7月1日・2日「ホームホスピス実践者育成塾」が小松市で開催されました!

当法人も会員となっている全国ホームホスピス協会では、毎年「ホームホスピス実践者育成塾」を開催しています。「もう一つの家ややさん」がオープンするという事で、今年の育成塾は小松市公会堂で開催されました。全国より約35名(※ややのいえからも6名)の現地参加とZoom参加も含め、多くの方が2日間にわたって学びを深めました。

理事長の榊原は、「うんこ文化センターおまかせうんちッチ」の代表でもあり、ただ出すだけの排泄ケアを改善しようと、日頃から排泄に関する人材育成に力を入れています。この育成塾では「気持ちよく出す排便ケア」の講師として毎年お話をさせて頂いています。

※ややのいえ...ややさんになるおうちのもと「コミュニティスペースややのいえ」として活用していました。「訪問看護ステーションややのいえ」など複数の事業を行っていましたが、総称して「ややのいえ」と呼んでおります。

7月1日といえば...

「氷室の日」。
全国の皆さんに召し上がって頂こうと“氷室饅頭”の差し入れをしました。
そして、芝寿しさんの「朔日弁当」の日という事で、昼食におすすめしました。



※氷室饅頭...日本ではまだ製氷の技術が無かった頃「氷室」という小屋に冬場に積もった天然の氷(雪)を貯めて初夏まで保管していたのですが、その氷室と深い繋がりがあるお饅頭です。無病息災を願う縁起菓子です。

6月23日(土) 令和4年度通常総会を開催しました!

「コミュニティスペースとんひろば」にて令和4年度の通常総会が開かれました。令和3年度の決算報告及び令和4年度の事業計画についてご出席の皆様より承認を頂きました。今年度はややさんの運営と共に、地域づくり事業が始まりますので、その内容についてパワーポイントを使いご説明させて頂きました。



Information

8月8日は「ややの日」を記念してホームホスピスこまつ発オンライン「いのちの学校」No.1を開催します!

—イノベーションは続く!暮らしの保健室&おまかせうんちッチ&ホームホスピス—

「暮らしの保健室」も「おまかせうんちッチ」も「ホームホスピス」も地域から生えてきたと言われる活動です。コロナさんに影響されつつも、さまざまな工夫で歩み続けています。暮らしの中にあるその活動の生みの親である秋山正子さんと市原美穂さんをお迎えして、榊原がナビゲーターをつとめさせていただき、「イノベーション」をテーマに地域の耕し方、構想を実現してきた道のりについて語り合います。暮らしの保健室やおまかせうんちッチやホームホスピスに関心をお持ちの方、どなたでも大歓迎です。



日時:2022年8月8日(月) 19時~21時

開催方法:ZOOMを使用したオンライン形式(後日録画したものをオンデマンド配信)

【ZOOM入室情報】

トピック: ホームホスピスこまつ発オンライン「いのちの学校」No.1

時間: 2022年8月8日 07:00 PM

Zoom ミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/83870801735...>

ミーティング ID: 838 7080 1735

パスコード: 839305

参加費
無料



9月23日(金・祝)は「もう一つの家ややさんの開所式」翌9月24日(土)はややさんの開所を記念してコンサートを開催します!

生と死の文化を豊かにする —魂のいちばんおいしいところ—

日時:9月24日(土) 13:30~15:30(13:00開場)

場所:称名寺(小松市西町96)

ゲスト:Diva(ピアノ 谷川賢作、ヴォーカル makoring、ベース 大坪 寛彦)
覚 和歌子(詩人) 特別ゲスト 谷川 俊太郎(詩人)※ビデオ出演

チケット:【前売兼】大人 3,000円/学生 1,000円

【当日券】大人 3,500円/学生 1,500円

※小学生以下無料

お申込みは
こちらから→



先着
50名

今後の予定

■9月23日(金・祝)
開所式 10:00~11:00

■9月24日(土)
コンサート 13:30~15:30



ややさんの入居をご希望
の方はご相談下さい。

0761-48-4988



こちら末広町 88 番地



9月23日(金)「もう一つの家ややさん」がいよいよオープンとなりました。本当に多くの皆さまのおかげで無事この日を迎える事ができました。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。

や やさんができるまで

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ・・・」

ややさんは、



こんな日々の連続でした。

しかし、こんなにたくさんの試練もなんのその、会員になって支えてくださった皆さま、物価高騰の為にいろんな事を諦めなければいけなくなった時、クラウドファンディングに挑戦したら450名近くの方々にご支援を頂きました。感謝でいっぱいです。

これだけ多くの皆さんのお気持ちが詰まった「ややさん」、場の力、人の力で、一人一人が自然と笑顔になれるようなややさんを作っていきたいと思えます。

ク ラウドファンディングでは、ノンフィクション作家の柳田邦男さんより素敵なメッセージを頂きました。



英語の“at home”には、ただ家にいるという意味だけでなく、「のんびりくつろぐ」「気が休まる」という意味が含まれています。Home Hospice の Home は、人生の物語の最終章と言うべき大切な日々を、まさに自分の家にいるようなくつろぎと休らぎの場で過ごせるようにしてあげようという思いがこめられたキーワードなのです。病院の固苦しい雰囲気を取り払った、心休まる Home Hospice が、北陸の一角に生まれるなら、地域の人々の「生と死」との向き合い方に新しい風をもたらすでしょう。

能 登はやさしや土までも

ややさんのスタッフは能登出身の方が多いです。「能登はやさしや土までも」は、能登の人は素朴で温かいという意味で使われますが、“類は友を呼ぶ”というように、出身地関係なく本当に心あるスタッフが集まりました。建物も人も自慢のややさんです。



気づき

1週間に満たない入院でしたが、術後の痛みと安静で、心とからだは衰弱した時、人の手の温もりへの恋しさ、病室の明るさや照明の方向、声のトーンや足音や機械音、冷房の風向き、口腔内や全身の清潔、衣類や寝具の肌触りや整い、食事の匂い、なんだか五感が研ぎ澄まされました。ややさんがオープンする前にケアを受ける側としてのこの経験は、「経験した者でない」とわからない」さまざまな気づきを得る事ができました。

そして、真っ白な四角い空間に6日間身を置いてみて、ホームホスピスの民家ならではの“空間の持つ力”を思いました。病室の窓から空を眺めてほっとしたように、「もう一つの家ややさん」で暮らされる方々も窓の外に安らぎを求められるのだらうなあと思いました。折々の花が咲き、紅葉し落葉する木々が季節を伝え、一緒に育み、実りを共に喜べるなどなど、こんなややさんの庭を作りたいなと思いました。

おかげさまで、素敵な業者さんとの出会いもあり、私たちの望むほっとできる庭が作れそうです。



「街」の持っている本来のやさしさ」について

榎原 千秋

名前は尋ねたことがないけれど、いつも同じ時間同じ場所で出会う人がいる。街の家々を巡って、その人の人生に沿わせていただく仕事を続けてきた。

一生の中には躓くこともあるし、病むこともある。一人で身を運べ、食事ができ、下のことができるという何でもないことが、喜びと感ずることができの方々との出会いの数々……。

出会うということを重ねて、人生は日々穏やかに巡っていく。

雪の降らない四国の田舎町から嫁に来て12年がたった。人の心の中にある心地よい記憶、柔らかな色、香り、肌触り、音、甘い味覚、そしてその場が作り上げていたであろう空気、それはいつも一人ではなかった。

幼い頃から町中の雑踏の中で育ったOさんが80代になって、白山の見える静かな土地に移ったとき、“毎日鳥が遊びに来てくれる。でも鳥は私の話し相手にはなってくれない”と言われた言葉が忘れられない。その後、夕暮れになると“家に帰る”と荷物をまとめられるようになるのにあまり月日はかからなかった。

街中に出会った人が幸せになってほしい、笑顔でいてほしい。

人間はそれぞれ違っていて、誰一人同じ人はいない。間違いを繰り返すし、弱さも入り交じる。それでもがんばれるし、お互い助け合って生きていける存在だと思ふ。だからこそ共感し、暖かで優しくなれる。

今街に大切なのは、そこに存在する一人一人の他者への暖かな関心ではないかと思っている。

人を動かすパワーは、自然にも建物にも確かにあるけれど、笑顔を生み出すパワーは人との関わりにしか生まれません。

そんな場を失わないように……失いそうな人がそばにいたら暖かな笑みを持って関わっていきたいと思ふ。



※ホームホスピスを本格的に立ち上げようという話になるちょっと前に、この平成12年に書いた文章が出てきました。



さあ、北陸初のホームホスピス、新たな物語の始まりです。
これからも引き続き応援くださいますようよろしくお願い致します。



「もう一つの家ややさん」がオープンして、はや 4 ヶ月になります。オープンまでの怒涛のような日々が遙か遠い昔のように感じられるくらい、ややさんには穏やかな時間が流れています。さて、オープンにあたって、会員になって下さった皆さま、クラウドファンディングで応援して下さいました皆さま、全国各地からご支援を頂きまして本当にありがとうございました。新しい年はどんな出会いやワクワクがあるのか、スタッフ一同楽しみにしております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

ややさんのお部屋に名前をつけました。

ややさんには 4 つのお部屋があります。ややさんとして生まれ変わる前から赤い壁のお部屋は「赤の間」と呼んでいました。せっかくだから他のお部屋にも名前をつけようと、プラネタリウムで星を見る事ができるようにしたお部屋は「星の間」、たくさんの光が入るお部屋は「光の間」、残りの 1 つを「風の間」と名付けました。たかが名前、されど名前、ややさんのお部屋が少し格式高くなった感じです(^^)



名前と言えば・・・

入居者の K さんは、スタッフに“源氏名”をつけて下さいます。例えば

- 倉さん → 羽衣 (はごろも)
- 中垣さん → 乙姫 (おとひめ)
- 西東さん → 向日葵姫 (ひまわりひめ)
- 木村さん → かぐや姫
- 秦さん → 人魚姫

素敵な源氏名を頂いて、スタッフは喜んでいます♡

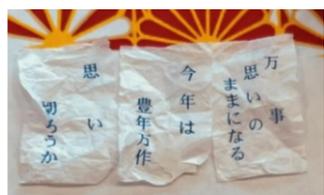


Tちゃんと入居者さん

ややさんの 2F には、看護師さんと小学 2 年生の男の子 T ちゃんも暮らしています。人懐っこい T ちゃんは、入居者さんのお部屋に顔を出したり、リビングで一緒に遊んだり、まるで孫のよう。さてさて、ややさんの初めてのクリスマスは T ちゃんとママの手作りケーキでクリスマスパーティ。入居者さんと T ちゃんできらびを吹き消した後は、みんなで美味しくケーキを頂きました。翌日は、サンタさんからもらったキーボードがあまりにも嬉しくてみんなを前に即席演奏会。スタッフや入居者さん、たくさんの大人が T ちゃんを見守り、T ちゃんから元気をもらう大人達。あったかな雰囲気のややさんです。



そして、ややさんでの始めてのお正月。お正月といえば定番の辻占。今年もいい事がありますように・・・



ややさんミステリー【その1】「盛り塩事件」

夜勤に入るようになった頃、ある日突然、休憩室の隅の机の上に「盛り塩」が…。夜勤の一人勤務で発見したのだから、ドッキー!と驚いたのはもちろんの事、怖くて怖くてたまりませんでした。「マジありえん。ウソやろ?ここってなんか出るんけ?」「私、就職先間違えてしまったか?」と恐怖と戦いながらなんとか夜勤を乗り切りました。日勤スタッフも盛り塩に気づいていて、すぐにその話題で持ちきりに。台所のお母さん(調理担当スタッフ)は「塩ならナメクジが出たんじゃないの?」とは言うけれど、ナメクジごときにあの盛り方は変だとまたまた議論に。



そうこうしているうち、あれはリラックスする為にアロマオイルを垂らしたアロマソルトだという事実が判明。確かにそう言われれば、アロマのいい香りが♪

いやいや、そうではない。感心している場合ではない。あの塩の盛り方は勘弁して下さいよ～。ほんと紛らわしいったりや、ありやしない。みんながざわついた事件でした。

※ちなみにややさんは「末広町 88 番地」というとても縁起のいい場所にあり、ややさんになる前は全国からお客様が沢山お泊りになって、「気のいい家」である事は立証済みです。期待しても?何も出ませんのでご安心を!

ややさんミステリー【その2】「よみがえる〇〇」

入居者の K さん、ややさんに来た頃は痩せていて、頭はつるつる★でした。ところが、2 か月程たった頃でしょうか。つるつるの頭に産毛のようなものがほわほわと生えているではありませんか!?しかも日毎に髪の毛は増え、長さも少し長くなり、黒くなってきています!?これには K さんもご満悦で、髪が増えている事に気づいてからは、頭の写真が増え、コレクション状態になっています。そして、どんどんみんなに紹介してくれとおっしゃるので、K さんもスタッフもいろんな方に自慢をしています。

「ふさふさになったらお祝いしよう!」と非常に楽しみにされています。そうそう、K さんの今一番欲しい物は「手鏡」と「櫛」だそうですよ。

【髪の毛が生えた事の検証】

ややさんに来た頃は痩せていた K さんですが、ややさんのバランスのよい食事で、随分体重も増えました。そして、しっかり食べる事が身体の血流を良くし、毛根に栄養が届いていると思われます。又、ややさんでストレスのない穏やかな生活もいい影響を与えているのではないのでしょうか。



「勸進札」完成しました!



クラウドファンディングで勸進札のご支援を頂きました方々に感謝の勸進札ボードができました! ホクリク宣伝様のお力とアイデアを頂き、当初の見本より更に立派な勸進札になりました。是非、小松にお越しの際はお立ち寄り下さいませ。

※勸進札

小松は歌舞伎のまちであり、「安宅」の関所を通過する時の様子を歌舞伎にした『勸進帳』という有名な演目があります。勸進帳とはお寺に寄付を募るお願いが書いてある巻物の事ですが、この勸進帳にちなんで「勸進札」と名付けました。



9月23日(金)「もう一つの家ややさん」の開所式を行いました。



開所式では50名を超える方々にご参列頂き誠にありがとうございました。テレビや新聞にも取り上げて頂き、おかげさまで沢山の方々にややさんを知って頂く事ができました。
又、23日~25日の内覧会でも100名を超える方々にお越し頂き、関心の高さが伺えました。



以下の方々にご祝辞、祝電を頂きました。

【ご祝辞】小松市宮橋市長／公立小松大学 山本博学長／森田病院 森田知史院長／日本財団常務理事 吉倉和宏様／
一般社団法人全国ホームホスピス協会理事長 市原美穂様／小松市社会福祉協議会会長 土中伊佐男様
【祝電】小松市医師会会長 村井裕様

「地域づくり事業」も盛りだくさん

ややさんで支援を頂いた日本財団の“もう一つの家”プロジェクトは、1年目はややさんのように「場」を作り、2年目・3年目はその場を活かして「地域づくり」を行う、3年間の継続事業となっています。既に2年目の事業を行っていますが、今後もいろいろご案内をしますので、是非ご参加下さいませ。

8月8日(月) ホームホスピスこまつ発オンライン「いのちの学校」No.1開催

「イノベーション」をテーマに地域の耕し方、構想を実現してきた道のりについて語り合いました。

ゲスト:市原美穂(一般社団法人全国ホームホスピス協会理事長)
秋山正子(認定NPO法人マギーズ東京 共同代表理事)



9月24日(土)コンサート「魂のいちばんおいしいところ」開催



ゲストの皆さん

「またここでコンサートをしてほしい」それが、称名寺の故 佐々木五六ご住職の願いでした。10年ぶりに開催されたコンサートは、誰にも訪れる死を、暮らしの中で自然に受け止め、次の世代に命の輝きを手渡す「看取りの文化」について、語り合う機会にもなりました。

ゲスト:Diva(ピアノ 谷川賢作、ヴォーカル makoring、ベース 大坪 寛彦)
覚 和歌子(詩人)特別ゲスト 谷川 俊太郎(詩人)※ビデオ出演

12月16日(金)「手のひらガーデン 苔テラリウム作り」開催

ややさんのお庭造りを一緒にして下さる白山麓ナーセリーさんを講師に、苔テラリウム作りに挑戦しました。チャチャッと完成させる人、しっかりバランスを見て作る人、作品に性格が表れていてとても楽しい時間となりました。



1月8日(日)「お餅つき大会」開催

スタッフのお子さんの要望で3年ぶりにお餅つき大会を開催しました。地域の皆さん、ややさん応援団など久しぶりに賑わい、とても楽しかったです。当日は小松市の成人式。会場のすぐそばにややさんがあるので、ふるまい餅を予定していましたが、皆さん、写真を撮るのに忙しく、誰も通ることなく、お餅つきは終了してしまいました。残念



Information

【お問合せ先】NPO 法人 ホームホスピスこまつ事務局
Mail:hospice-komatsu@sorabuta.com
TEL 0761-48-4988 FAX 0761-48-4977

ホスピスパートナー養成講座
春日キスヨ先生から学ぶ人生100年時代の古い仕度の知恵「身じまいの文化」
老後の事は元気なうちから上手に備えておきたいもの。入院から退院、その先の生活まで、いつ何に困りがちで、どんな心得が必要なのか。「あるある困った」への対処法から、介護の備えの「基本のき」まで、これからの新しい常識、入院も介護もなりゆき任せにしないための「身じまい」について学び、語り合しましょう。

日時:2023年2月23日(木・祝日) 会場定員:先着20名
13:00~16:00(13:00~15:00 講義 / 15:00~16:00 座談会)
開催方法:ハイブリッド<コミュニティスペースとんとんひろば*>+<Zoom オンライン>
*小松市小馬出町35-1
お申込み:会場参加 上記お問い合わせ先よりお申込み下さい。
オンライン参加 右のQRコードよりお申込み下さい。
※Zoom入室情報は後日ご案内させていただきます。



「いのちの学校」連載セミナー
「ホームホスピスの空間づくり」— 穏やかに最期まで暮らす場のあり方 —
住み慣れた街で生き残るための新たな場づくり、空間のあり方、環境について、介護・看護・医療や建築の分野を超えて、語りあってみたいと思います。

【パネリスト】●人々の生活を支える住まいの力 山口健太郎(近畿大学建築学部教授)
●ホームホスピスを実現するポイント 黒岩 雄二(全国ホームホスピス協会事務局長)
●ホームホスピスの設計を通じて 常橋 明浩(空環境計画代表・一級建築士)
●入居者と家族の声からつくる真の拠り所となる場づくり人づくり 榊原 千秋(NPO法人ホームホスピスこまつ)

日時:2023年2月26日(日) 10:00~12:00
開催方法:ハイブリッド<コミュニティスペースとんとんひろば*>+<Zoom オンライン>
*小松市小馬出町35-1
お申込み:右のQRコードよりお申込み下さい。
※Zoom入室情報は後日ご案内させていただきます。



令和4年度、令和5年度の年会費及び協力会費の納入をお願いします!
NPO 法人ホームホスピスこまつでは「認定 NPO 法人」を目指しています。認定 NPO 法人になると、社会的信頼性が高まり、ご寄付された方も税制上の優遇措置を受ける事ができます。是非、ご協力お願い致します。

会 員:10,000 円
賛助会員:個人 3,000 円 法人 30,000 円

【振込先】北國銀行小松支店(普) 56600
特定非営利活動法人ホームホスピスこまつ 理事長 榊原 千秋

ご寄付も
お願い致します

「ホスピスパートナー」募集中!
もう一つの家ややさんでは、ややさんのケアを体験して頂く「ホスピスパートナー」を募集しています。宿泊できるお部屋もございますので、宿泊体験も可能ですよ。ご希望の方は0761-48-4988までご連絡下さい。

常勤スタッフ、
夜勤専従スタッフ
募集中です!